

長の申請に依り一日中を二日分以引直したる次片
 ありとは親しく向洛署長自來の言ふ如くあると、
 職工側に於て之の方急業果然を有する者以外に白
 下は演説を聞き、余就と許抗し職工相考の結系
 を陳べたるのである。此の村同様の顧問たる植田
 好方郎氏は新有紙に依り、此の新業を始め、自ら
 自己の立場よりして者進退を考へ可きと信じて取
 敢て来り、職工幹部と折交せし後、職工部
 同して余就に之を署長に陳べ、余就は承知せしむべく、
 交渉をせしむるに既に経過期の中にあらず、顧問前記
 要を條項に命ずる自來の意見を加へず、職工自
 身の意見よりか故に、唯に其の意志を會合

したるが故に、原本條項を貫徹すべく努力をせしむ
 るに、余就側には益々一被受の意なき幅より止むを
 交談不調となり引上げたり。断りしに、待て居る
 る職工諸氏は右報告を聞き、其の片後、取
 るべき道を考へ、溢れを止し居る折柄、此時此折
 職工の一部にては、教有子弟教員中心、東日の交談
 は考より、に嚴に過かぬ、故に交談不調となり
 たる光の如し、此の折、余就は、是れを貫徹せん
 と思ひ居るに、此の折、余就は、是れを貫徹せん
 交談不調となり、其の片後、取
 るべき道を考へ、溢れを止し居る折柄、此時此折
 職工の一部にては、教有子弟教員中心、東日の交談
 は考より、に嚴に過かぬ、故に交談不調となり
 たる光の如し、此の折、余就は、是れを貫徹せん
 と思ひ居るに、此の折、余就は、是れを貫徹せん